

## 2025 年巳年（乙巳）風水吉凶方位（2025 年 2 月 4 日～2026 年 2 月 3 日）

総評：本年へび年（乙巳）はの二黒が方位の中央に来ます。財を殖し倉庫にお金が貯まり、人もとても旺盛となる。しかし同時に病気をもたらす病符でもあるので、抑うつになるのも免れない。主に疾病、婦人病、消化器疾患などをもちます。八卦では坤に属し、色は黒、五行は土。母親の病、女性問題による訴訟いざこざ。家の中心は動かさないほうが良い。五黄と重なった場合はより重大な病になりやすい。その場合、六白を動かすことによって調整する。或いは二黒の方位に金属製の風鈴を掛け化サツする。三碧と重なるようなら、トラブルが多くなります。二黒は病の星まわりなので、世界で伝染病がはやる可能性が高い。特に中高年女性の消化器の病気が多いでしょう。現在は九運で九紫は「火」に属します。二黒は「土」に属しますので、不動産関連が旺盛になるでしょう。結婚に関しては不利な年です。一白は太歳と、三碧は歳破と重なるため、これらの方位は動きがない方がよい。二黒が中央に来るため、商店、工場、オフィスなどの中央などでは動きのある物は極力さけ、本棚、タンス、などが行き来できないように工夫すると良いでしょう。二黒と一白の組合せでは、一白が学生を表すため、勉学に困難が生じ、志を遂げられない恐れがあります。病気に注意。五黄と二黒の組合せでは、一家の主が大病を患う可能性があります。年長者などに注意が必要です。二黒と三碧の組合せでは、三碧木が二黒土を剋するため、二黒の気が逆流して病がより悪化する可能性があります。二黒と四緑の組合せでは、四緑は乳房・肝臓を表すため、乳房と肝臓の病気に要注意。二黒と六白の組合せでは、六白を旺盛にします。六白は財運の星ですが、力は衰退、財運は期待できません。二黒と七赤の組合せでは、七赤金を旺盛にします。七赤は凶の星で、のどをあらわします。二黒と重なるとのどの疾患の恐れがあります。二黒と八白の組合せでは、共に土に属します。八白がある程度、二黒の凶性を抑えることができます。ただし、風水的環境が悪く、月の運勢が良くなければ二黒の凶を抑え切れない状況をもたらします。二黒と九紫の組合せでは、どちらの力が強いかによって、吉凶が分かれます。九紫が強ければ良いことが訪れますが、良いことのなかに凶が潜んでいる場合が

陰暦・西暦の対応表	
陰暦	西暦(陽暦)
1 月	2025年2月4日～3月5日
2 月	2025年3月6日～4月4日
3 月	2025年4月5日～5月5日
4 月	2025年5月6日～6月5日
5 月	2025年6月6日～7月6日
6 月	2025年7月7日～8月7日
7 月	2025年8月8日～9月7日
8 月	2025年9月8日～10月7日
9 月	2025年10月8日～11月7日
10 月	2025年11月8日～12月6日
11 月	2025年12月7日～2026年1月5日
12 月	2026年1月6日～2026年2月3日

注：立春が一年の分岐点となります。

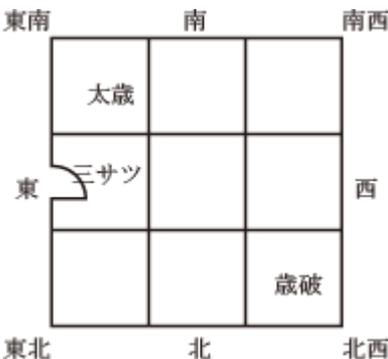
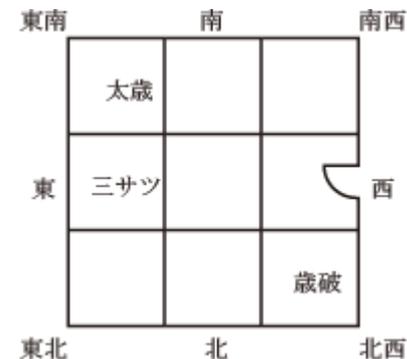
本表は二十四節気で陰暦月を計算しています。

本年の吉凶方位：

吉方位：南・南西・東

凶方位：東南・南・西・中央

東南	南	南西
一白／小吉[桃花位][太歳(巳)]	六白／小吉[馭馬]	八白／大吉[財位]
一白は桃花（結婚、恋愛運）、旅行、移転、盗賊を表します。桃花エネルギーを高めるには、この方位に銅花瓶とローズ水晶などを置きます。桃花サツ（浮気など）を避けるには、銅ヒョウタンを置きます。家運を良くするには、麒麟を置き、思考力を高めるには、文昌塔を置きます。この方位は三碧と四緑生れの人に有利。二黒、五黄と八白生れ人は桃花運、財運、旅行、移転の可能性が高まります。この方位は六白、七赤と九紫生れの人には不利。陰暦 2 月、11 月はトラブル、泥棒に要注意。赤色系のものと圧歳銭を 1 つ置くことと良い。陰暦 12 月、3 月、9 月は風鈴をつるし災いと病をさける。	六白は財運の星ですが、衰退しているため、財運効果はほとんどありません。馭馬の星なので、引越しや旅行、出かける機会が多くなるでしょう。黄色系のもので強化することができます。この方位は一白生れの人に有利。三碧と四緑生れ人はブルー系のもを置くことと良い。陰暦 5 月、8 月、7 月は争いごと、手足のケガや皮膚病をさけるため黒酢を置くことと良い。引越したい場合、住宅の抽選を当てたいときはこの方位に銅馬を置きます。昇進、受験には文昌塔を置く。陰暦 2 月、11 月はパワーがもっとも強力になるので、昇進、移動、開業、起業などには銅馬を置いてエネルギーを強化します。	この方位は財運方位です。財運、事業拡張、起業、昇進、出産など良いことを表す。八白方位は生れが八白、七赤、六白、五黄、二黒の人に有利。一白生れの人には不利なので、白色系のもを置くことと良い。八白は陰暦 4 月にもっとも旺盛となる。八白をパワーアップするには、赤色系のもを置く、あるいは赤い金魚を 9 匹飼う。横財力を高めるには、2 つのヒキュウに旺財物（黄水晶、水晶玉など）を加えて置いたり、龍龜、八白玉あるいは五帝古銭などを用いる。陰暦 12 月、8 月、9 月には子供のケガ、夫婦不和、腰痛に注意、赤色系のもを置くことと良い。7 月、10 月は五層風鈴を掛けるとよい。通年で鉢植えなど植物類は良くない。

東	中央(年星)本年の全体運	西
<p><b>九紫／大吉[喜慶][三サツ]</b></p> <p>九紫は吉慶の星です。未来の生氣を代表し、異性運、結婚、出産、昇進など喜ばしいことを表す。陰暦4月、5月は特に良い。この方位のエネルギーを強化するには、この方角に紫水晶を置く。異性運には銅花瓶とローズ水晶。健康、出産には玉山を置く。家運をよくするには、一對の銅麒麟背銭。受験、昇進には文昌塔を置く。九紫は生れが八白、二黒、五黄の人に有利。七赤と六白の人には不利なので、黄色系のものを置くと良い。陰暦2月と11月は病気をさけるために五層の風鈴をつるすと良い。陰暦1月と10月は火災に注意し、黄色系のものを置くと良い。</p>	<p><b>二黒／大凶[病符位]</b></p> <p>二黒は主に疾病、婦人科病、消化器疾患などを表す。さらに風水的環境が悪く、月の運勢が良くなければ重大な病気にかかり、手術する可能性が高くなる。この方位は一白生れの人に不利である。回避するには以下の方法がある。一對の麒麟あるいは銅の葫蘆を置く。安忍水を置く。六帝古銭または圧サツ銭を置く。八卦銅銭を9個置く。銅風鈴をつるす。蝙蝠のものを吊るす。陰暦1月、4月、10月はとくに凶になるので、銅鐘あるいは龍鐘をつるし朝晩6回鳴らすと良い。陰暦3月はトラブルをさけるため赤色系のものを置くと良い。金魚鉢、植物などは余りよくない。</p>	<p><b>四緑／小凶[文昌位]</b></p> <p>四緑は流年の文昌方位です。試験、勉強運、昇進に有利。これをより強力にするには水晶文昌塔、銅文昌塔、緑玉文昌塔など、或いは丸い容器に水を入れて、この方位に置きます。四緑は九紫生れの人に有利ですが、二黒、五黄および八白の人には不利なので、赤いものをこの方位に置きます。陰暦3月、6月は災いや病気をさけるため風鈴をかざると良い。陰暦5月はトラブルと破財をさけるため赤色系のものを置くと良い。三サツ(坐・却・歳)の方位は座らないほうが良い。これを避けるには、麒麟を三匹おく。逆に三サツに向うように座ると吉。</p>
		
東北	北	北西
五黄／凶方[五黄サツ]	七赤／凶方	三碧／凶方[是非位]歳破(亥)
<p>五黄が来るこの方位は本年の大凶方位。五黄は大サツとよばれ、すべての災い、病氣、早死に、滞り、失敗などはこの方位によってもたらされる。本年この方位では、改装や工事など、動きをもたらすことは行わないようにしましょう。動きがあると五黄のエネルギーが強化され、災いを引き起こす。この五黄をさけるには五層銅風鈴あるいは小さな羅盤を吊るす。また赤系統のものをさける。陰暦4月、7月、9月は方位の組み合わせが最も凶となるので、銅鐘あるいは龍鐘をつるし、毎日朝晩六回ずつ鳴らす。また家内安全には銅麒麟4匹、六帝古銭と銅風鈴1個を吊るすと良い。</p>	<p>七赤は衰退のサツ。盗賊、色事、名声に溺れるなどを表す。七赤は一白生れの人に有利。三碧と四緑の人には不利なので、青色系のものを置くと良い。陰暦5月は六白が来るので、兄弟、パートナー、友人と反目しやすくなる。それらを避けるためには梅花銭を携帯あるいは机の中にしのばせると良い。陰暦2月、11月は九紫が来るので、火事に注意。黄色系のものをおくと良い。陰暦8月は三碧が来るので、赤色系のものを置いて破財、トラブルをさける。</p>	<p>三碧は争いごとを好み、忘恩負義の星とされています。トラブル、訴訟、破財、盗難を表す。路地、道路や歩道橋などによるヤリサツ等がある場合は特に凶。貴金属店などがこれらを犯している場合は要注意。住宅、工場、店舗などこの方位には、金魚、扇風機など動きのあるものは避けましょう。赤色系の布、カーペットを敷くか、赤い電灯をつけてこれらをさけます。三碧は九紫生まれの人に対して有利。二黒、五黄および八白生まれの人には不利なので赤色系のものを置く。陰暦3月、6月は病気になるやすいので注意が必要。五層風鈴を吊るして避けると良い。陰暦1月、10月は最凶となるので要注意。とくに盗難、訴訟に注意。盗難には銭剣、訴訟トラブルには五層風鈴を吊るすと良い。</p>
